

高等学校 保健体育科（科目保健）
単元名 「現代の感染症とその予防」（第1学年）*

※原則として入学年次又はその次の年次に履修。

1 単元の目標

- (1) 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることについて理解することができるようにする。
- (2) 現代の感染症とその予防について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。
- (3) 現代の感染症とその予防についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ②交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌(0157 等)感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。 ③感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。 ④エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解したことを言ったり、書いたりしている。	①感染症の発生や流行について、情報を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②感染症を予防するための取組みについて、課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ワークシートに記述したりして、筋道を立てて説明している。	①感染症とその予防について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。

3 指導と評価の計画（4時間扱い）

	主な学習内容・学習活動	知	思	態	評価方法
1	○感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 ○班でタブレットにまとめ、発表する。	①			観察 ワークシート
2	○交通網の発達やグローバル化による新たな課題があることについて理解する。 ○感染症予防の三原則について理解する。 ○感染症の予防についての課題を考え、班で確認をする。	②	①		観察 ワークシート
③	○感染予防のための、個人の取組及び社会的な対策の必要性について理解する。 ○外部指導者の助言を踏まえて、課題の解決に向けて班で話し合い発表する。	③		②	観察 ワークシート
4	○エイズ及び性感染症について、予防のために必要な個人の行動選択や社会の対策について理解する。 ○単元を通して学んだことをこれからの生活にどのように生かしていくかをタブレットに入力し、発表する。	④		①	観察 ワークシート

※主体的に学習に取り組む態度の評価については、内容のまとめり全体を通して総括することとした。

4 本時の指導案 (3/4 時)

(1) 本時の目標

○感染症のリスクを軽減し予防するためには、個人の取り組みの必要性や、様々な社会的な対策があることについて理解できるようにする。

◎感染症のリスクを軽減し予防するための取り組みについて、課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、タブレットに入力したりして、筋道を立てて説明している。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	学習形態	教師の指導・支援 (◆評価規準と方法)
導入	1 前時の振り返りをする。	全体	○感染症予防の三原則について、前時の学習内容を確認する。
	2 本時の学習内容について確認する。	全体	○本時の学習内容を掲示し、学習課題や学習内容について理解できるようにする。
【学習課題】 感染症の予防についての取り組みを理解し、感染症のリスクの軽減と予防について考えよう。			
展開	3 個人や社会の取り組みについて考える。 ①具体的にどのような取り組みがあるのか考え、ワークシートに入力する。 ②班で意見を共有し、発表する。	個人 班	○1班4.5人編成の計9班で行う。 ○他の班の意見をタブレットで共有し、考えを深めるよう促す。
	4 外部講師に質問をする。 ①前時で考えてきた、現代の感染症についての質問をする。 ②タブレットに新たな発見や課題について入力する。	班	○動画配信でLive交流ができるよう、事前に別のICT機器を準備する。 ○事前に班で考えた質問を外部講師に答えてもらい、考えを深めるようにする。 ○学習活動4で学んだことを関連付けて、ワークシートに入力するよう促す。
展開	5 感染症のリスクの軽減と予防について考える。 【発問】 感染症のリスクを軽減し、予防するにはどうすればよいか。 ①班で考えたことをタブレットに入力する。 ②班で意見を共有する。 ③疑問があれば、外部講師か教師に質問する。 ④班でまとめた意見を、全体に発表する。	班	○新型コロナウイルスや他の感染症等を踏まえて、具体的にどう行動すればよいのか考えるよう促す。 ○なぜそのように考えるようになったか、具体的な理由を述べられるよう促す。 ◆思考・判断・表現-② (学習活動5) 【観察・ワークシート】 ○新たな課題や質問に対して、講師や教師に質問するよう促す。 ○思いつかない場合や調べることがあれば、タブレットを使って調べる。
	6 本時のまとめをする。 ①本時の学習を振り返り、感染症に感染するリスクを軽減し、予防するために必要なことをまとめる。 ②まとめたことを発表する。	個人	○外部講師や他の班の意見を踏まえて、再度自分の考えを整理できるようにする。 ○外部講師の講評を聞く。 ○教科書や資料で確認し、説明する。 ◆知識・技能-③ (授業後) 【観察・ワークシート】
まとめ	7 本時の振り返りをする。 ○授業を振り返り、自分の生活にどのように生かしていくか考え、発表する。	個人	○今後の自分や家族、社会の取り組み等を通して入力するよう促す。

5 資料等

○板書計画

本時の目標 感染症の予防についての取組を理解し、感染症のリスクの軽減と予防について考えよう。

個人の取り組み

マスク, 咳エチケット
正しい知識による行動
予防接種, 人混みを避ける

社会全体の取り組み

上下水道や空調の整備
検疫による国内侵入の防止
環境衛生の充実
検疫で国内侵入阻止
出席停止や臨時休業など
知識の普及や適切な情報発信
常時監視, 調査・研究
情報を収集, 分析, 公表

前面ホワイトスクリーン

- ・パワーポイントや資料の説明
- ・タブレットの共有

【発問】

感染症のリスクを軽減し予防するにはどうすればよいか。

まとめ

必要なことは何だろうか。



個人と社会の協力が必要

振り返り

これからのあなたの生活に
どのように生かそうと思いますか？

○タブレット (ワークシート)

**Q 感染症の予防について
個人や社会の取り組みは
どのようなものがあるか。**

個人

社会全体

**Q 感染症のリスクを軽減し
予防するには
どうすればよいか。
班で意見を共有し発表**

まとめ

感染症のリスクの軽減と予防に
必要なことは何だと思いますか？
理由も書きましょう。

振り返り

これからのあなたの生活に
どのように生かそうと思いますか？

資料1：外部指導者への事前に用意した質問内容

- | | |
|----|---|
| 2班 | ・マスクをすることによって、感染症にどの程度の効果があるのでしょうか。 |
| 3班 | ・ワクチンは、どのように開発され、どのような効果があるのでしょうか。 |
| 5班 | ・新型コロナウイルス感染症が、2類から5類に変わったことでどのような違いや影響があるのでしょうか。 |

資料2：正しい情報の収集先例

正しい情報の収集

首相官邸ホームページ
(新型コロナウイルス感染症対策について)
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

内閣官房ホームページ
(新型コロナウイルス感染症対策)
<https://corona.go.jp/>

感染症対策厚生労働省ホームページ
(新型コロナウイルス感染症について)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

文部科学省ホームページ
(新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について)
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html

国立感染症研究所ホームページ
(新型コロナウイルス感染症関連情報ページ)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/covid-19.html>

資料3：厚生労働省（感染対策・健康や医療相談の情報より）

新型コロナウイルス感染症対策 2023年度版

新型コロナウイルス感染症は5類感染症になりました

2023年5月8日から

感染対策は個人・事業者の判断が基本となります

引き続き、以下の対策は有効です

- 換気**
●換気の方法として「機械換気(24時間換気システムや換気扇)」または「自然換気(窓開け)」があります。
- 手洗い・手指消毒**
- マスク着用**
●重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、以下のような場合にはマスクを着用しましょう。
●学校や公共施設、高齢者施設などを訪問する時
●通勤・通学時など混雑した電車・バスに乗車する時
※事業者の判断でマスク着用を求められる場合があります。

◆症状がある場合に外出をする際は、人混みは避け、マスクを着用しましょう。
◆事前にコロナ抗原検査キットや解熱剤などの常備薬を準備しておくとう安心です。

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進室 新型コロナウイルス感染症について